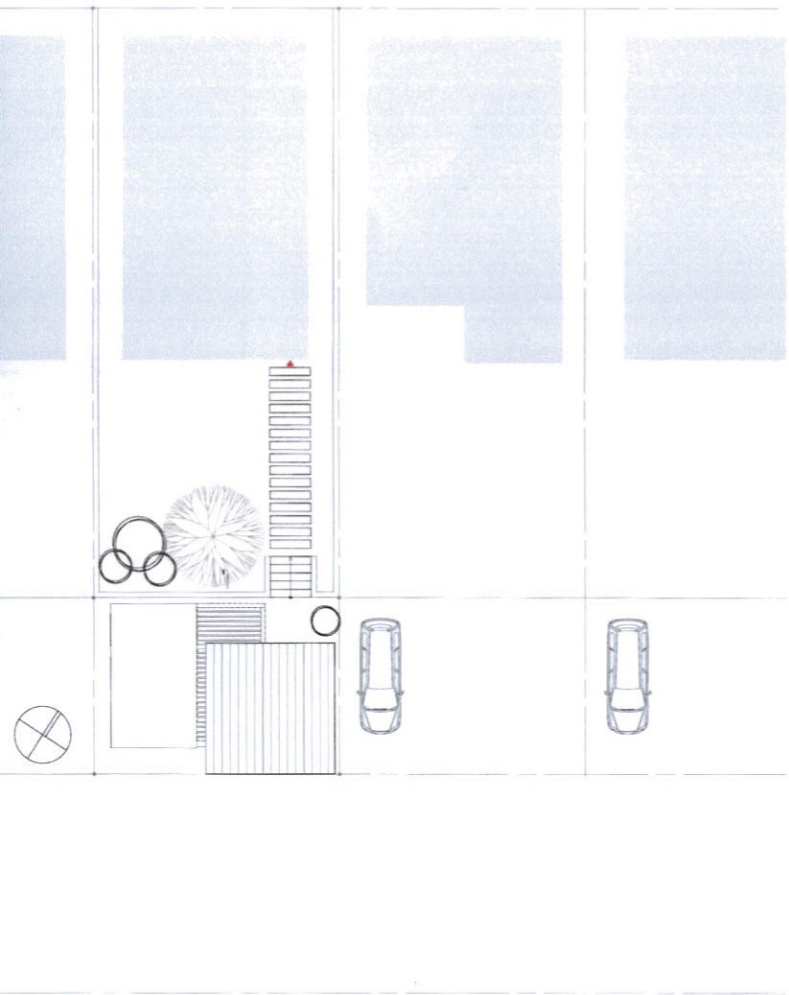
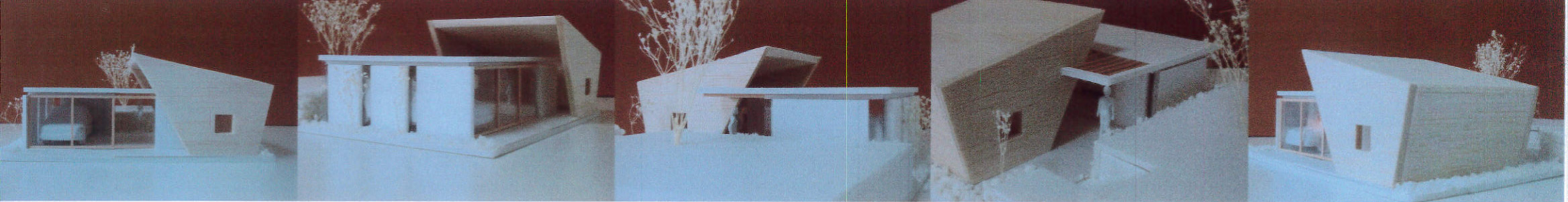




配置図 1/200

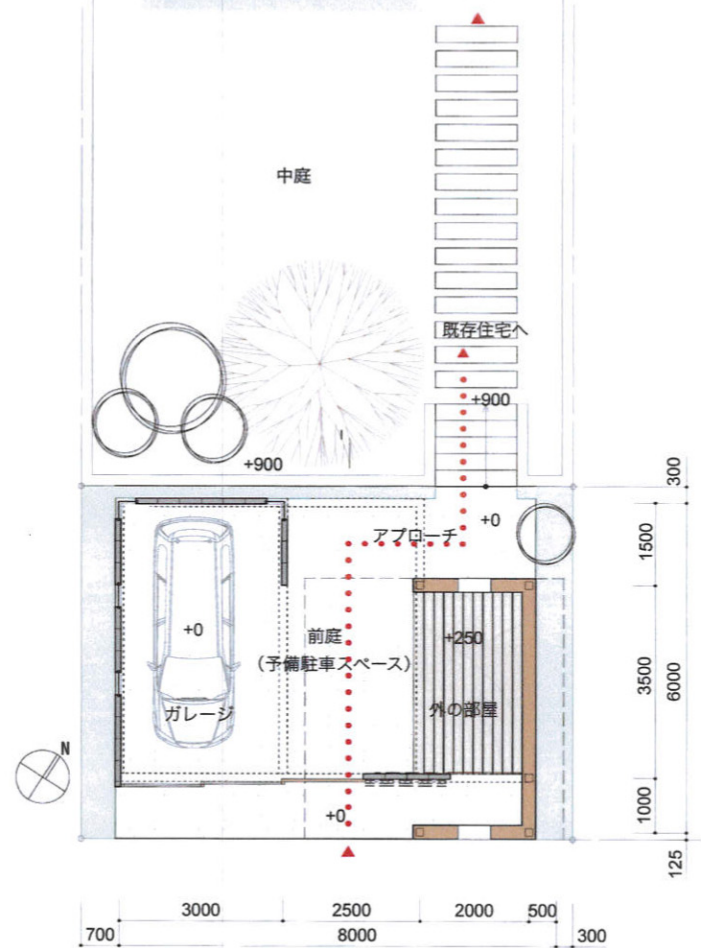
facegarage

■敷地
郊外の閑静な住宅街における既存住宅への
ガレージ空間の提案である。
敷地と道路の高低差がある場合など、駐車
スペースと住宅が独立することを想定。

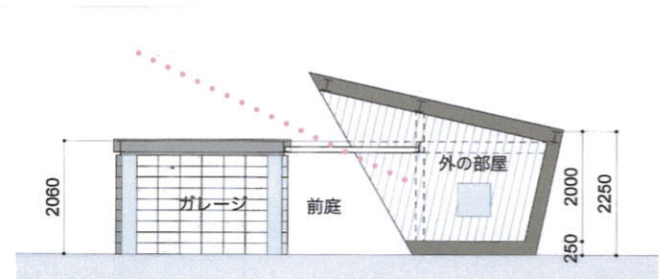
■ガレージは家のかお
道路と面するガレージは防犯性を備えた駐
車スペースでありたい反面、街と接する家
の顔であり「デザイン性・プライバシー性
・パブリック性・街並への配慮」を兼ね備
える必要がある。

■前庭と引戸
ガレージに付随する憩いの空間「外の部屋」
はあえて外部とし、ガレージとの間に前庭
を挟む事でアクティビティの幅が広がる。
しかし、これらの空間は道路とは引き戸で
閉じられるので安全は確保される。
また、引き戸をポリカーボネートと木の素
材とすることで、道路への開放性を操作で
きる。
家族が安全に憩いながら、街とつながれる
空間の提案である。

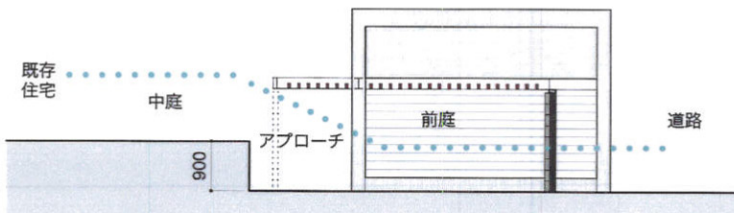
■コンクリートブロックと異素材
組積造はその構造から重たいイメージがある。
ここに異素材のガラスと組み合わせで壁を構
成する提案をする。
ブロック壁はそれで構造となるため、原則、
隅をガラスで抜き、部分的にスリットとする。
視線と光の効果により開放感がでる。
また、ブロックの重たい素材感をあえて全面
にだし、屋根面を浮かすことで対比効果がう
まれガラスもより引き立つと考える。



平面図 1/100



断面図 1/100



断面図 1/100

■前庭と中庭
既存住宅・中庭と、道路の間に前庭スペースを
もうける事で、2つの性格の異なる外部空間が
緩やかにつながる。
風はぬけるが視線は部分的にカットされるので
既存の中庭がよりプライバシー性を増した落ち
着いた空間となる。

